



Newsletter 第2回ジョン万次郎英語弁論大会&第5回ジョン万サミット in 土佐清水 特集

第2回ジョン万次郎英語
弁論大会・座談会を開催

平成28年8月27日(土)に高知市文化プラザ(かるぽーと)にて「第2回ジョン万次郎英語弁論大会・座談会」が開催され、中学生12名、高校生4名の計16名が参加しました。今年で2回目を向かえる本大会は、ジョン万次郎の功績を称えるとともに、それに続く若者達にジョン万次郎のことをより深く知ってもらうために開催しました。

昨年比べて皆さんのレベルが高く、審査員の方々も選考に苦慮されていましたが、厳選な審査の結果、中学生の部では、岡林航平君(高知大付属中1年)・高校生の部では、田中万結さん(高知工業高校1年)が特別賞を受賞しました。



田中さんは昨年に続き再度チャレンジし、みごとリベンジを果しました。副賞として10月4日よりアメリカで開催された「第26回日米草の根交流サミット2016広域アトランタ大会」に派遣されました。

各賞の方々には以下の通りです。
・土佐ジョン万会長賞…野崎駿矢(土佐塾中学)・高知県教育委員長賞…竹村唯(丸ノ内高校)・高知市教育委員長賞…山本真央(大方中学)・NHK高知支局長賞…小松広美(土佐山学舎)・ジョン万次郎特別賞…田岡花菜(土佐山学舎)・審査員特別賞…西健汰(香北中学)。



その後、中濱京氏、北代淳二氏、青野博氏による座談会が行われ、ゲストとして前回特別賞の濱田優介君が九州(東福岡高等学校)1年・サッカー部)から駆け

つけてくれました。また高知県青年団協議会「ポニート」のみなさんがジョン万寸劇「Strip for Ship」を披露して会場を賑わかせてくれました。

2回目の弁論大会を振り返って、まず、今大会に参加して来る意欲に感心しました。(特に中学生の皆さん)正にジョン万スピリットそのものです!そして若い時に、海外に出て行っているんなことを体験するということ、なんて



素晴らしい事なのだつくづく感じました。来年も準備は大変ですが、皆さんに気持ち良く参加してもらおうように努めたいと思います。

日米草の根交流サミット
2016 広域アトランタ大会

公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念国際草の根交流センター(以下CIB)が、毎年日本とアメリカで交互に開催している約一週間の交流イベントで、広域アトランタ大会が今年で26回を数えます。第26回大会は、CIBとアトランタに本拠を置くジョージア日米協会との協力で運営されます。

この大会のオープニング式典で、高知から派遣された2人は300人の聴衆の前で高知にて行ったものと同じ弁論を披露しました。



聴衆のみなさまから拍手喝采を浴びたそうです。高知の若者が、アトランタで頑張りました。大したものですね。なお2人の感想文は別紙に掲載しますので、ご覧下さい。

第6回土佐清水ジョン万祭り

平成28年10月29日(土)、今年で6回目を向かえる「ジョン万祭り」が



真青な秋晴れの下、あしずり港で開催されました。午前中は「岸壁」で清水中学音楽部演奏、フリーマーケット、ハロウィン仮装コンテスト、恒例のジョン万英語かるた取り大会、キルト米国民芸品実演販売等のイベントが行われ、お昼からは「ジョン万群像前広場」で開会式典及び市民表彰が行われました。

フェア・ヘブンからはルーニーさんご夫妻一行、名古屋からは中濱京さん、沖縄ジョン万関係者と懐かしい、メンバーが勢揃しました。

土佐ジョン万会は、高知市からバス8台を連ね200名あまりの方が参加しました。

夜は市内「みんぼう」で交流レセプションが行われ、懐かしい人達にお会いできて、楽しいひと時を過ごしました。



第5回ジョン万サミット 土佐清水

翌日、(10月30日)は新装された市立中央公民会にて「第5回ジョン万サミット」土佐清水が開催されました。国内外からジョン万次郎を顕彰する団体関係者(9団体)や一般のジョン万ファンら130人が集まりました。

各団体が活動報告などを通して交流を行いました。北代淳二氏から米国の「ホイットフィールド・万次郎友好記念館」の開館に尽力した同会が高齢化のため今年、解散の報告があり、「今後は各団体が結び付いたオールジャパンで頑張ろう」との呼び掛けがありました。

8月に行われた弁論大会特別賞の2人が再び弁論を披露しました。国際草の根交流センターの轟木氏からは、彼らがアトラクタ大会で参加者から喝采を浴びたとの報告もありました。

第5回を向かえるこのサミットも、昨年の沖縄大会を機に一段と盛り上がりつつ来た感があります。嬉しい限りです。土佐ジョン万会として、来年は東京でのサミット開催を提案しました。



万次郎忌 雑司ヶ谷

平成28年11月12日(土)雑司ヶ谷霊園で「万次郎忌」が行われました。波乱万丈の人生を送った万次郎は、当時の東京市京橋区弓町8番地(現在の中央区銀座2丁目「ミキモト」)にあった



長男・東一郎の邸で亡くなりました。今年で118年になるそうです。

江東区長、土佐清水市長、土佐ジョン万会からは会長、事務局長を

はじめ、全国各地から40名あまりの方が参列しました。

「万次郎終焉の地」に移動し、高知県アンテナショップ2階にある土佐料理「おきやく」で東一郎氏の遠縁にあたる石館光三氏(公財)東京生化学研究会常務理事)による講演が行われました。特別オプジョンとして伊豆長岡に「江川太郎左衛門邸と葦山反射鏡」の小旅行が敢行されました。

北代淳二氏(中浜万次郎の会会長)より、来年の「万次郎忌」は11月12日(日)に予定していますが、その前日11日(土)にサミットを行いたい旨の提案がありました。出席者の賛同へ得て決定と至りました。

土佐ジョン万会 来年の予定

今年の土佐ジョン万会は、7月に「総会」を開催し、8月には「第2回ジョン万次郎英語弁論大会・座談会」を、10月には「ジョン万祭り」「ジョン万サミット」に参加をしました。

ジョン万次郎を通じて、多くの人と交流が出来たと感じています。

来年の予定は年が明けて理事会を開催し決めて行く予定ですが、7月頃に「総会」を開催し、8月に「第3回ジョン万次郎英語弁論大会」を開催したいと考えています。

来年の予定の詳細が分かりましたら、会員の皆様にはニューズレターなどでお知らせを致します。



土佐ジョン万会 (会長 内田 泰史)

〒780-0952 高知市塚ノ原 37

☎ 088-843-6007 ✉ tosa@johnmung.org

http://johnmung.org/